

むらたまち 議会だより



高い技術を披露する村二中バスケット部
(ぬまべ多目的スポーツパーク落成)

- 令和4年第3回定例会 … 2
- ズバリ!町政を問う【一般質問 2人】 … 5
- 常任委員会レポート … 8 他

Vol.130
2022.8.1.

2億6752 万円追加

令和4年第3回定例会は、6月14日から16日までの3日間にわたり開催されました。この定例会では、専決承認10件、条例の制定2件、条例の改正1件、補正予算2件、報告3件が提案されました。また、一般質問は2人の議員が、町の考えや対応などについて質問をしました。

まちづくり振興課 商工費

事業継続応援 給付金事業

1200万円

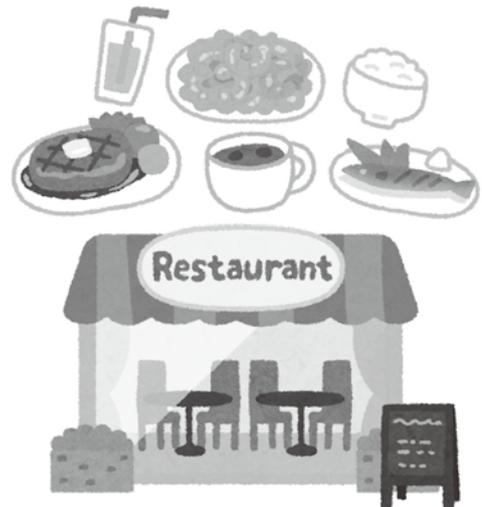


令和4年4月から6月までの法人・個人事業収入がコロナ発症前の売り上げで20%以上減少した事業者に対し給付金を交付

まちづくり振興課 商工費

原油価格・物価高騰 支援事業

4450万円



町内全世帯に1万円分の
クーポン券配布

A

45事業者分の予算措置をしたが、時短営業の協力として25事業者に支払いをしたもの。

Q

商工費の新型コロナウイルス感染症防止協力金の減額理由は。

A

令和3年度末現在の見込み残高は4億2512万円である。

Q

21年度3月末時点の財政調整基金の残高は。

■承認第7号専決処分事項の報告承認について
令和3年度村田町一般会計予算（第13号）

第3回定例会議案
質疑応答

目玉の事業

歴史みらい館 教育費

文化施設利用者感染 予防対策事業

340万円



歴史みらい館内の本棚の増設

健康福祉課 民生費

住民税非課税世帯等 臨時特別給付金事業

1000万円

住民税非課税世帯又は家計急変世帯に臨時的な措置として給付金を一世帯当たり10万円の支給

子育て支援課 民生費

子育て世帯生活支援 特別給付金支給事業 (ひとり親世帯以外)

700万円

新型コロナウイルスの影響により、損害を受けた低所得の子育て世帯を対象児童一人につき5万円の支給

A

現在32%。今年度は40%代を目指している。

Q

本町のマイナンバーカードの申請率は。

A

ウォーキングコースの照明灯のLED化をするため。

Q

土木費の公園管理費工事請負の内訳は。

A

国が進めるデジタル化による利便性の向上のためオンラインシステムの構築を図るもの。

Q

行政手続きオンライン化業務委託料について。

A

クーポン券を配布することによって町内の事業者も潤えることで支援する。

Q

商工費の原油価格・物価高騰としてクーポン券を配布する意味は。

■議案第39号令和4年度村田町一般会計
補正予算(第3号)

令和4年第3回 定例会議案の議案と採決結果

議案名	採決結果
専決処分の報告承認	
■承認第2号 令和3年度村田町一般会計補正予算（第12号） 歳入歳出それぞれ3264万円を追加するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第3号 村田町町税条例等の一部を改正する条例	承認 賛成11：反対0
■承認第4号 村田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認 賛成11：反対0
■承認第5号 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	承認 賛成11：反対0
■承認第6号 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	承認 賛成11：反対0
■承認第7号 令和3年度村田町一般会計補正予算（第13号） 歳入歳出それぞれ9684万円を追加するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第8号 令和3年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ1億6319万円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第9号 令和3年度村田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ453万8千円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第10号 令和3年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ605万1千円を追加するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第11号 令和4年度村田町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ1億8520万7千円を追加するもの	承認 賛成11：反対0
条例の制定・改正	
■議案第36号 村田町犯罪被害者等支援条例の制定について 犯罪被害者等の支援に関し、基本となる事項を定めるもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第37号 むまべ多目的スポーツパーク条例の制定について 町民のスポーツ・レクリエーション活動の振興と健康増進に寄与するため設置	原案可決 賛成11：反対0
■議案第38号 村田町武家屋敷（旧田山家）条例の一部を改正する条例 利用者向上を図るため利用料金の一部改定を行うもの	原案可決 賛成11：反対0
補正予算	
■議案第39号 令和4年度一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ2億6752万円を追加するもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第40号 令和4年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ63万4千円を追加するもの	原案可決 賛成11：反対0
報告	
■報告第2号 繰越明許費繰越計算書について（令和3年度村田町一般会計）	—
■報告第3号 令和3年度村田町上水道事業会計予算繰越計算書について（建設改良費繰越）	—
■報告第4号 令和3年度村田町下水道事業会計予算繰越計算書について（建設改良費繰越）	—



● **山家 大議員** (6ページ)

- 1.適正規模校と小規模校を比較して教育に影響はあるのか。

● **菊地 睦夫議員** (7ページ)

- 1.保育所に通う園児の使用済みおもむつの処理について
- 2.介護をしている方の【介護マーク】の普及について

一般質問とは？

一般質問とは、議員が町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。



山家 大議員

規模が違う町内各学校 教育への影響は

適正規模を確保するための統合は必要か

Q 学力調査等で
各校の正答率は

A 各校差は無く

おおむね

全国平均値

Q いじめ・不登校
各校の状況は

A 規模による影響は

ない

質問

全国学力・学習状況調査での各校の平均正答率は。

教育長答弁

各校ごとの公表は出来ないが、学校規模での大きな差は見られず各校全国平均に近い値。

追質問

学校間で学力の共有が出来ていれば、統合と同様の効果では。

教育総務課長答弁

共有はしている。統合によるメリットは学力に限ったものではない。

質問

各校のいじめ発生件数および不登校の人数と日数は。

教育長答弁

児童生徒数に比例して増加傾向だが、割合で見れば学校規模による影響はないと思われる。

追質問

つまり小規模校のほうが発生しにくいのは。

教育総務課長答弁

小規模校ではクラス替えという解決策が取れない。

追質問

年間出生数40人、少子化傾向なので、統合しても結局1クラスになる可能性

がある。町内小学校2校で転校のほうが効果的では。

教育総務課長答弁

ここ5年は2クラス相当の40人半ばの出生数で推移している。

本町の実情に合った学校配置の更なる検討を

追質問

各校とも長所を生かし短所を最小限に抑え、地域と連携しながら学校教育を提供している。この良い環境を変えてまで統合する必要はあるのか。

教育総務課長答弁

規模の大小それぞれの長所短所があるが、それを比較検討した結果、小規模校ではさまざまな分野で活動が制限される要素が多い。



小規模校の村田二小は各学年1クラス



各学年2クラスで適正規模の村田小



菊地 睦夫 議員

使用済み紙おむつの持ち帰りは子どもの体調管理の観点から、園児の健康状態を保護者に伝えるには、使用済み

問 保育所に通う園児の「使用済みおむつ」の処理は

答弁 園での一括処理に向けて準備を進める

質問

現在、本町では保育所に通う園児の「使用済みおむつ」が職員によって区分され、保護者が持ち帰っていると聞いております。今の世の中、新型コロナウイルスやノロウイルス等の感染症が広がりやすい環境の中で、保育士がおむつを園児ごとに分けることは、衛生的にも大変な業務であり、また精神的な負担も大きいと思います。子どもの健康を守るとともに、保護者や保育士の負担軽減につながるよう「使用済みおむつ」を一括にまとめて園内か町で処理すべきだと思いが考えを伺う。

町長答弁

のおむつを見てもらうことが、最も簡単でわかりやすい方法だと推察される。社会情勢が変化し、長年続いてきた慣習ですが、感染症対策など衛生上の理由から、村田保育所においても、近隣自治体と情報交換をし、園での一括処理に向けて準備を進め、保護者の皆様に寄り添い、仕事と子育ての両立に向けて、少しでも負担が軽減されるよう支援してまいります。



使用済みのおむつ入れ

問 介護をしている方の「介護マーク」の普及は

答弁 「介護マーク」の準備、配布に取り組む

質問

認知症の方などの介護は、他の人から見ると介護をしていることがわかりにくいいため、介護中に誤解や偏見を持たれることがあります。

そこで、介護する方が介護中であることを周囲に理解していただくために作成されたのが「介護マーク」です。

安心して暮らせるまちづくり、高齢者に優しいまちづくりのために、本町でも「介護マーク」の普及推進をすべきだと思いが考えを伺う。



介護マーク

町長答弁

「介護マーク」は、介護する方が周囲から偏見や誤解を受けることがないよう、介護中であることを理解していただくために、平成23年4月に静岡県において考案されたものです。

高齢化の進行に伴い、認知症などにより介護を必要とする高齢者の増加もあり、介護をしている方の精神的負担の軽減や、温かく見守る「やさしい社会」を実現するためにも「介護マーク」の周知については、速やかに広報紙などにて普及啓発を図り、名札ケースに入れた「介護マーク」を相談窓口などに準備し、必要とする方へ配布できるように取り組んでまいります。

レポート

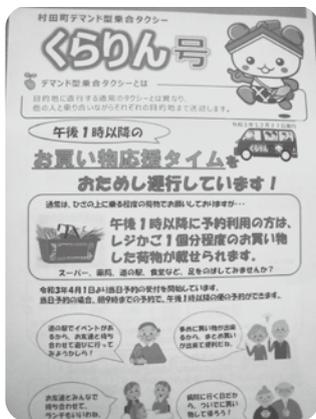
地域公共交通対策について (5月16日実施)

総務常任委員会

コロナ禍でデマンド型乗り合いタクシー利用減少

○委員会所見

本町の地域公共交通システム体系の現況は、(株)ミヤコーバス路線の運行、村田町デマンド型乗り合いタクシー「くらりん号」事業、通園・通学バスの運行で交通弱者の足となつて町民の利便性向上に努めている。令和4年3月末時点のデマンド型乗り合いタクシーの利用登録者は前年度並みの787人。運行日は242日。日平均利用者は12・9人。延べ利用者は3113人の状況となった。コロナ禍の影響で約1000人利用者が減少した。みやぎ県南中核病院へのデマンド型乗り合いタクシーの乗り入れ協議については、市町間における協議の進展はない状況である。



くらりん号のパンフレット

交通弱者の足として運行体系の制度設計を模索し地域公共交通対策の利便性向上に向けて取り組むことを求める。また、現在「みやぎ県南中核病院」までのデマンド型乗り合いタクシー乗り入れについては、関係機関との協議が停滞している。町民からの要望が多い「みやぎ県南中核病院」へのデマンド型乗り合いタクシー乗り入れについては、市町関係部局及び地域公共交通協議会と継続した協議が出来る方向で調整に入ること努めること。

都市計画事業について (5月20日実施)

産業建設常任委員会

都市計画道路

○委員会所見

計画路線は7路線、計画延長は21・63km。

うち改良済延長6110

km(28・3%)、概成済延長

4990km(23・0%)

都市公園

現在は、次の5箇所の公園

の維持管理に努めており、町民の憩いの場として活用。

・相山公園・塩内公園

・北沢公園・城山公園

・新小谷地公園

都市計画道路小池石生線について

現在、

事業中の小池石生線については、宮城県大河原土木事務所において道路及び橋梁の詳細設計を行い、対象用地の取得を進め、一部、仮設橋(荒川)の工事に着手。

令和4年3月仮設橋(荒川)設置完了

※用地買収については、令和4年度継続実施。

第5次村田町総合計画の基本構想の一つとして、「快適で利便性の高いまちづくり」を掲げて、土地利用・都市計画や道路・河川の整備、公園の整備などを方針としているが、本町の都市計画道路7路線の48・7%が未改良の現状である。さらに、村田町国土強靱化地域計画の「起きているならない最悪の事態(リスクシナリオ)」を踏まえた、「交通・物流」の分野では交通基盤の維持などについて示しているが、災害に強い交通ネットワークの構築も急務だ。

また、5つの都市公園はここ数年、トイレ、遊具などの整備が行われているが、村田町国土強靱化地域計画では過去に町内で発生した大規模自然災害を想定して、災害時の物資調達対策と合わせて、避難場所となる公園の長寿命化対策も急ぐべきである。

常任委員会

介護保険行政について (5月18日実施)

教育民生常任委員会

◆対象

①第1号被保険者
加入者：65歳以上すべての方
利用者：介護が必要と認定された方

②第2号被保険者

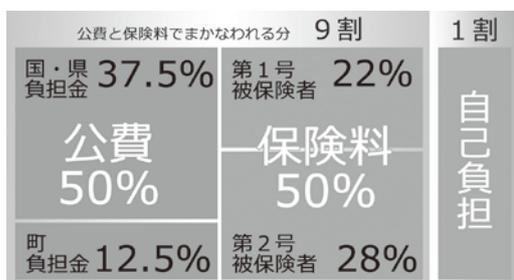
加入者：40歳から64歳までの医療保険加入者
利用者：老化が原因とされる病気(特定疾病)により介護が必要と認定された方

◆サービスの分類

- ①介護サービス
 - ・ 居宅サービス
 - ・ 施設サービス
- ②介護予防サービス
 - ・ 居宅サービス
- ③地域密着型サービス
 - ・ 小規模多機能型居宅介護
 - ・ 認知症対策対応型共同生活介護
 - ・ 特別養護老人ホーム
- ④総合事業
 - ・ 訪問型サービス
 - ・ 一般介護予防事業

◆財源

介護サービスにかかる費用のうち、利用する人が負担する1割(一定以上の所得のある方は2〜3割)を除いた分が、町民の納める保険料と公費(国や自治体の負担金)でまかなわれている。



介護サービス費用内訳

○委員会所見

制度改正が多く対応も大変な中、多種多様な業務に携わっていただいている。健康であることが保険料を抑えることにもつながるので、今後は健康促進事業にも力を入れていくことを求める。

コロナ対策補助金を最大限に活用

国の新型コロナウイルス対策の地方創生臨時交付金を有効活用し、コロナ対策の事業に取り組みました。その一部を紹介します。



競技を楽しむ町民の皆さん



落成式

スポーツ振興で健康増進

沼辺地区の体育センター跡地の整備を行い、沼辺地区の方々をはじめとする町民のスポーツ・レクリエーションの振興と健康増進に寄与するため、ぬまべ多目的スポーツパークが完成しました。



塩内公園と城山公園を周回するウォーキングコース内に夜間でも安心・安全に運動ができるようにLED照明灯の整備をおこないます。

公園施設に照明整備の設置事業



マイナナンバーカードの普及に伴い、カードを活用した行政サービス向上のオンライン化に向け、各システムの改修を進めます。

マイナバーカードを活用したデジタル推進事業

わたしの思い

後悔のない人生の第一歩

しばさき たけろう
柴崎 武郎さん(関場)

稲作農家の長男として生まれ、物心がついたときから父と一緒に米作りをしてきました。その父も数年前に他界。今年1月、家業を継ぐため16年間の務めた会社を退職して専業農家になりました。農家は天候に左右されることが多いですが、適切な時期がきたら自ら芽を出し、成長していく作物たちを見てみると自然の力に驚かされ、そのエネルギーを感じながらサラリーマン時代には味わえなかった有意義な時間を楽しんでいます。



新たな出会い
私の親戚に釣りが趣味の伯父がいます。小学生のころ、伯父が運転する船に乗せてもらって釣りに連れて行ってもらった記憶があります。ある日その伯父から思いもよらない言葉をかけられました。「船いらないか？」その言葉を聞いたときは想定外の話でのけ反りました。だけど、



これも何かのご縁と思いを継承する事に決め、私はすぐに小型船舶1級の免許を取得し新たな境地を開拓してみる事にしました。一旦海上に出てみると車が走る道路のような信号や車線はありません。自分が進みたい方向に船を走らせることができます。夜明けと共に、朝日が昇ってくる中、大海原を颯爽と走り抜ける爽快感とその日の釣果を期待するワクワク感がが相まって、たまに気持ちはいい。私が好きな時間の1つです。

支えられていることに感謝
作物を育てながら、冬は自宅ですべての薪ストーブ用の薪作り、そして時々釣り。仕事と趣味を兼ね備えた「農林水産業」ができるのも、いろんな人との縁で今日に至っています。昨今、暗いニュースばかりですが、楽しい時間を過ごさせていることに感謝しています。

暑中お見舞い申し上げます

村田町議会議員一同

議員は、公職選挙法の規定により年賀状、季節の挨拶状などが規制されております。ご理解をお願いします。

次の定例会は 9月6日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より
<https://www.town.murata.miyagi.jp/>
コンテンツ「議会」から「議会中継」へ
アクセスしてください。

本会議の日程については、
町ホームページの「本会議開催予定表」で
詳しくお知らせしています。

**本会議の感染症予防対策として
傍聴者席数を制限しています。**

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

編集後記

8月に入り、暑い夏をいかがお過ごしですか。蒸し暑い時期に気を付けたいのが脱水と熱中症です。体の1〜2%の水分量が失われることで起こる軽度の脱水状態を「かくれ脱水」と呼ばれますが、この状態からさらに脱水が進行して熱中症を引き起こす場合があるとのこと。

高齢者や子ども、障がいのある方は特に脱水になりやすいので、家族・周囲の方が気を配り、今年の夏を乗り切りましょう。

議会広報編集特別委員会
委員 鈴木 正信

- 発行・編集責任者
議長 遠藤 実
- 議会広報編集特別委員会
委員長 菊地 陸夫
副委員長 大沼 吉隆
委員 山家 大宏
委員 鈴木 正信
委員 鈴木 登明
委員 村上 敏
委員 吉野 初美
委員 太田 博
委員 鈴木 保博